会　議　録

会議の名称	第６回行田市立中央小学校・星宮小学校再編成準備委員会
開催日時	令和３年１２月２２日（水） 開会：午後６時３０分・閉会：午後７時１５分
開催場所	行田市産業文化会館２階　２Ａ会議室
出席者（委員）氏名	駒見行彦委員長、栗原光夫副委員長、羽鳥嗣郎副委員長、荻原章委員、遠藤隆久委員、塚越要委員、稲岡一雄委員、市川ひろみ委員、芙蓉良明委員
欠席者（委員）氏名	小池邦彦委員
事務局	齋藤教育長、吉田学校教育部長、長島教育総務課長、上野主幹、久積主査、田沼
会議内容	（１）各専門部会の進捗状況について （２）校歌について
会議資料	・資料１　専門部会の進捗状況 ・資料２　校歌
その他必要事項	傍聴人　なし

発　言　者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
事務局	１　開会 ２　あいさつ 教育長　齋藤操 委員長　駒見行彦 ３　議事 （１）各専門部会の進捗状況について
駒見委員長	各専門部会の進捗状況について事務局より説明をお願いする。
事務局	（資料のとおり説明）
駒見委員長	何か質問はあるか。
Ａ委員	校歌は学校運営部会の方だけが聞いて、承認されたのか。
事務局	校歌は学校運営部会で審議し、部会として承認されたので、本日準備委員会に諮らせていただいている。
Ａ委員	聞いたのは部会の方だけか。
事務局	そのとおり。前回の準備委員会では歌詞を確認いただいたが、この後、曲を含めて協議してもらいたい。
Ｂ委員	通学部会について、星宮小へ説明したようだが、地域へ示す予定はあるか。また、どのような形になるか。
事務局	案の段階で温故創生に掲載したことがある。このたび、バスの

	ルート等が決まったので、温故創生で知らせていきたい。
Ｂ委員	市報や地域への回覧はどうか。
事務局	市報の予定はない。温故創生は地域への回覧になるので、地域の方はそこで確認いただきたいと思う。
Ａ委員	校歌について、学校運営部会でまとまったという事だが、専門家の意見はどこかに入っているのか。なぜかというと、「あの詩でいいのか」と言った方がいるという事を小耳に挟んだので、責任が大きいと感じる。
駒見委員長	校歌は次の協議案件なので、進ちょく状況については一度締めさせていただく。
	（２）校歌について
駒見委員長	校歌について事務局より説明をお願いする。
事務局	（資料のとおり説明） （視聴）
事務局	先ほどのＡ委員の質問だが、校歌を決めていく過程としては、学校運営部会で作詞作曲は戸川さんに頼むことになった。戸川さんは音楽の教員を長くやっていて、合唱の指導もしている方である。校歌の作成については、学校運営部会で意見交換をしながら進めてきた。外部の意見は当初から伺う予定はなく、学校運営部会と準備委員会で決めていきたいと考える。
Ａ委員	重い話だと思う。

駒見委員長	学校運営部会委員として携わった方の意見はどうか。
荻原学校運営部会部会長	昨年からの経緯を見ると、プロに頼めば一般的な校歌はできるが、ワードなど地元ならではのものを勘案できるのは身近な方であるという意見から人選した結果が戸川さんであった。１１月の学校運営部会では、非常に心地よく、メロディも良いという意見だった。ゆっくり歌えば低学年も歌いやすいし、学校の指導によっては少し早く歌う事も可能ということで、学校運営部会では良い感触の中、承認された。
塚越委員（学校運営部会委員）	委員の中には合唱をやっている人もいるし、親の立場の人もいる中で、色々な角度から考えた。小学校の校歌という事で優しい言葉だし、メロディも簡単に歌えるということで、この校歌でいきたいという流れだった。
Ａ委員	歌いやすいと思う。私たちが決めていいのかなと思ったのは、教育委員の中に音楽専門の方がいて、その方がどのような意見を持つのかなと思った。
事務局	今回の再編成については、まずは部会で話し合って、準備委員会で協議していただく流れになっている。あくまでも星宮小学校区と中央小学校区の方で考えていただくように進めてきた。教育委員へ報告はしている。
Ａ委員	今になって「詩はこれでいいのか」という声が聞こえてくる。例えば「行田には森がない」とか。後から突っつかれるのが嫌だなと思った。良い曲だと思うが、後から「あなたたちが決めたのか」と言われた時に決定権の面で自信がない。

事務局	「森」については部会でも意見があった。星宮小の歌詞の中に「５つの森」という言葉があるし、中央小にも「歴史の森」という場所がある。
Ｃ委員	例えば、中央小学区の人であれば星宮小の事を知らないので、星宮小の校歌の中に「５つの森」という言葉がある事を知らずに言っている人もいるのかもしれない。一緒の思いでやっていくことを伝えることが必要だと思っている。星宮小の校歌のフレーズを残すこともできるし、中央小にも歴史の森が近年出来た。戸川先生にも来校してもらったのだが、その中で感じたイメージの一つかなと思う。
駒見委員長	前回の再編成準備委員会で歌詞については協議をしているところである。その結果を学校運営部会に持ち帰って、揉んだ結果がこの形になる。既に準備委員会の意見を反映したものになるかと思う。
Ａ委員	その会議の後に聞いた話である。
駒見委員長	責任という部分では発生してくると思う。これから歌詞の変更を差し戻すと日程的に難しいと思う。
Ａ委員	前回も曲は歌詞を踏まえて作っているのかという話をしたと思う。
駒見委員長	星宮小と中央小に由来があるのであれば、「森」というのも生きてくるのかなと思う。

A委員	中央小の場合、吹奏楽があると思うが、そちらの意見はどうか。
荻原校長	中央小の吹奏楽部は新校に引き継がれることになるが、顧問に案ということで提示したら、「歌いやすい」、「子ども達が演奏できる形に作れる」という感想だった。
A委員	メロディは中央小の校歌を思い出すような部分がある。もう少しテンポが速くてもいいかもしれない。 （テンポを速くして視聴）
A委員	早い方が聞きやすい気がする。
D委員	「今日の学びを確かめる」の「を」が歌詞にはあるが、楽譜や歌う時にはない。
事務局	国語的な表現と音楽的な表現もあるかと思う。戸川さんに確認する。 ※（戸川さん確認）歌詞に表記されているものを歌う時に発音しない事はある。今回もリズムが合うように外した。最終的には、今後、指導する中で決めていきたい。
E委員	もう少し元気よく歌ってもいいかもしれない。
駒見委員長	採決を取りたいと思う。この校歌の承認に賛成の方は拍手をお願いする。 （拍手多数）

駒見委員長	承認させていただく。 4　閉会